

岡山県医師会女医部会 担当理事 大本佐和子

先日、中島先生と第4回男女共同参画フォーラムに出席して参りました。このフォーラムも、以前は女性ばかりでしたが、今回はかなり男性の参加が目立っております。やはり「男女共同参画」というからには男性が居ないと意味がないです。今後は、我々女医部会もそういうつもりで頑張っていきたいと思えます。

さて、島根医大の卒業生の約5割が女性で、山口大学医学部の入学者の約5割が女性だそうです。また、国家試験の合格者の内、3分の1が女性とありますが、今後5割に達するのは目に見えています。ですから、女性医師を育てるためにどれだけの税金がかかっているか、ということをよく考えて、学生が医師になる前に成績が単に偏差値が高いからというだけで医学部を目指さないように高校から教育していただきたいと思えます。そして、医学部に入学したからには、多少は休みながらも医師を続けてほしいと思えます。それを支援するための女医部会だと思っておりますので、県医師会の担当理事として全面的にそういうことを発言していきたいです。女性が立場を主張する事は、なかなか難しい事もありますが、今がチャンスだと思えます。医師不足等で医療崩壊と騒いでいる時こそ、女性医師が働きやすい環境を作り上げていくよいチャンスだと思っておりますので、みなさん頑張りましょう。